

フォトニュース

もちつきに挑戦！



▲12月17日、大島小学校の5年生25人が、校庭でもちつき大会を行いました。5月の田植え、10月の稲刈りを経て、みんなで収穫したもち米を蒸し、杵(きね)と石臼(いしうす)でみんなで代わるがわるつきました。つきあがったおもちを児童達は、「あったかい」、「やわらかい」などと歓声をあげながらまわりました。「田植えから始めたので、とても達成感がある。」児童達は感慨深げに、つきたてのおもちを味わいました。

長男の元服を祝う伝統の儀式



▲1月6日、民田地区で江戸時代初期から伝わる新年と長男の元服を祝う「三矢の儀式」が、民田八幡神社で執り行われました。

地域住民や近隣市町からの見学者など約60人が見守る中、烏帽子と直垂で正装した元服する子の親が、裏に「鬼」と書かれたひし形の的に向かって矢を放ちました。矢は見事に的にあたり、3本目の矢は今年の恵方である南南東の空へ大きく放たれました。



▲阿古谷小学校の1年生～3年生20人が、三草山を背景に、幼児交通安全教室うさちゃんクラブの「ぴょんちゃん」とともに、新しい年がいい年になるようお願いしました。

男の料理教室



▲12月18日、社会福祉会館で男女共同参画グループいき生きライフ主催の「ふれあい*で愛料理教室(男の料理教室)」が開催されました。参加者は、「クリスマスパーティーで楽しめる料理」を習得しようと、講師の説明や指導を受けながら、和気あいあいとみんなで楽しく料理を作りあげました。

かるた遊び楽しいな♪



▲猪名川保育園でお正月遊びの定番、かるた取り大会が行われました。園児達は、かるたを通して、猪名川の歴史や文化を楽しく学びました。

明治維新と猪名川の人々②
激動する維新期に「高槻藩預かり」ながら幕府領であった猪名川町域の人々にとって、徳川方に付くのか新政府側に立つのかは大問題でした。
村々の指導者層である多田院御家人達が新政府支持を決めたのは慶応4(1868)年1月7日。前日に到着した岩倉具視の添状付きの新政府「参与役所」からの書状を受けたものでした。
翌8日、京へ出発したこの行動は、高槻藩が5日に降伏していたとはいえず、まだ大坂城落城前で大冒険といえるでしょう。この迅速さは、前年12月に能勢出身の奥西唯右衛門達が「御守衛士」に採用されたことを多田院が承知して



▲多田院御家人の屋敷(槻並)

いたからと思われ(※故郷を離れていた奥西らを多田院浪人組、地元御家人らが結成した多田院を国元組として区別します)。
多田院は東山道鎮撫軍、または会津征討軍として従軍しています。地元正式に維新が知らされたのは1月14日、「長州」名の徳川慶喜追討令が多田院を通して紫合村他に通知されました。

▼れんが作りのメルヘンハウス。窓からは大好きな家族や友達がのぞいています。
志田 陽光くん(2年生)



▲強そうで、カッコいい盾に見えれば、うれしいです。
人見 志織さん(5年生)



阿古谷小学校

▼名画に挑戦しました。背景のグラデーションをがんばりました。
吉田 開成くん(6年生)



▲ニャーニャー。しりとりしよう。だれからやる?ぼくからね。
村上 拓海くん(1年生)

